



の市民団体紹介

応援します
市民力。

市内で活躍する元気な団体・サークル・同好会を紹介するコーナーです。
活動内容やイベント情報など、編集部までお知らせください。

- ◆活動場所：おもむろ(小津町865)など
- ◆活動日：毎週土曜日(時間は自由)
- ◆会費：正会員5000円/年
- ◆問い合わせ先：090-2236-7112(前原)

NPO法人 小津倶楽部

この町だからできること

恩方地域にある小津町は、豊かな自然に囲まれた静かな地域ですが、かつてに比べて住人が減少、高齢化も進み、空き家や耕作放棄地が増えて、山林も荒れるようになりました。2014年に小津町会長になった前原教久さんは、こうした課題に対して、町会としての解決方法を役員と一緒に模索し始めました。ただ、自分たちだけでは解決できないことも多く、小津町外の人にも応援を頼むため、2017年に「NPO法人 小津倶楽部」を立ち上げます。現在のメンバーは、正会員、ボランティア会員を含めて80名ほど。町内外それぞれ半々くらいの方々が活動に携わっています。

活動の拠点としているのは、町内の空き家をリフォームした「おもむろ」。もともと草木が生い茂る荒れ果てた敷地でしたが、メンバーの手で、さまざまなイベントが開催できる場所に整備していきました。また、耕作放棄地では野菜などを育て、それを使ったピザが焼ける石釜を作ったり、小麦を育ててうどん作りを指南



▲うどん作りの様子

したりするなど、活動は次々と拡大。現在は1000人の集客を果たすイベントができるようになりました。

「自分一人ではできなかったけれど、仲間にも恵まれたんですね。まだまだ地域の方、地域外の方も巻き込んで仲間を増やしていきたいです」と抱負を語る前原さん。いままでの活動を体系化して、学ばただけでなく、メンバーと一緒にやって作業を楽しんでもらうため、「小津カレッジ」という体験学習講座を立ち上げ、来年度からスタートさせる予定です。いまは小津という一地域での取り組みですが、広く恩方全体の活性化を目指して、さらに活動の幅を広げていきます。

大久保長安を知るための

3 ステップ

揺籃社

知る ① 初心者向け 絵本



長安さまのまちづくり
—八王子のまちをつくった
大久保長安—

吉田美江 文・長野美穂 画
A4判 28頁 フルカラー
1800円+税

学ぶ ② 各地研究者の講演録



大久保長安に迫る
—徳川家康の天下を支えた
総代官—

村上直、馬場憲一、仲野義文、濱野浩、大宮守友 共著
A5判 64頁+カラーグラビア16頁
900円+税

深める ③ 長安研究の決定版



論集
代官頭大久保長安の研究

村上直 著(馬場憲一 編)
A5判 448頁
2800円+税

※ここは「はちとび」を応援して下さっている方々に自由に使っていただく
フリースペースです。今回は「大久保長安の会」です。

八王子の民俗誌 12

八王子地域社会研究会 代表 佐藤 広

恩方へ誘ってくれた方々



▲上恩方町上案下のセエノカミ

恩方地区は八王子市でも歴史や伝統文化が豊かなところである。それは、戦前から地域に深い関心を持って活動し、地域を大切にしてきた人々の流れがあるからである。コロナ禍の中、地域社会の基盤は人間である、と改めて思う。

新型コロナウイルスの感染拡大で、何カ月も調査に出かけていない。物事を調べるには、そこで暮らしている方々にお会いし、話を聞く。話しぶり、住まいのあり方、ご家族、趣味、周囲の景観や雰囲気、お持ちの資料などから学ぶことが多い。気づけば自分も高齢となり、感染が怖い。他人を疑い、交流できない。なんとストレスが蓄積することが。こんな状況なので、今回は恩方を知り始めたころのことを記したい。

もう40年以上も前のこと、民俗研究の先輩に連れられて、渋谷区松濤の最上孝敬先生のお宅で開かれた西郊民俗談話会に参加した。着物姿の最上先生は、私が八王子から来たこと知ると、「ヒシヤマさんは元気がね」と声をかけてくださった。誰のことかわからないまま、その場を取り繕ったが、私は先生を前にしての緊張で、それしか覚えていない。後に上恩方町の菱山栄一さんのことであると知った。

菱山栄一さんは、戦前戦後と恩方を中心に幅広い文化活動や農村振興に尽力され、中央でも名高い方である。1935（昭和10）年、『日本の村——須恵村』の著者の人類学者エンブリーが恩方村を訪問したときに村を案内した。民俗学者の瀬川清子、民家研究の今和次郎らの恩方での調査も支援している。「八王子の民俗研究史」（『新八王子市史』民俗編 2017）をぜひ一読いただきたい。

谷地川流域を訪ねて 3

八王子の原風景 12

元・八王子市市史編さん研究協力員 馬場喜信

谷地川が多摩川に注いでいるところから加住丘陵の奥に鎮まる水源の地点まで歩いてみよう。JR八高線の小宮駅に降りたのは、初夏の朝だった。流域の南と北に連なる丘陵は新緑が鮮やかで、大気に映えて美しい。周辺の林相はコナラ・クリ群落と呼ばれ、低山地帯の二次林という。古くから薪炭林として利用されてきたというが、近年はしだいに樹林の様相もかわりつつあるようだ。

この群落は、四季の変化がそれぞれに美しい。とりわけ春の若葉と秋の紅葉には目をうばわれる。冬の木立も、葉を落としてつくした枝や梢の線がさええとしていて味わい深い。滝山丘陵には、コナラ・クリ林のところどころに、植林されたスギやヒノキの一群を見かけることもある。

今日の1日をどう歩くか、地図を広げてコースを考えた。小宮駅を出発地とし、まずは谷地川が多摩川に注ぐ合流地点まですこし下って、そこから川筋に沿って水源地を目指し、地形図に戸吹とあるあたりまで遡ることにした。

谷地川の谷は直線状に長く延び、その谷あいの道は古くから格好の東西交通路として利用されてきたという。現在は立派に舗装された滝山街道を歩いていても、あちらこちらにかつての道の名残と、道筋に沿って左右に残る自然と旧跡に出会うことができる。

自然と旧跡を訪ねてこの谷を歩いた初めの1日は汗ばむほどの日であったが、日が暮れかけても水源はまだ遠



▲柵淵坂旧景（1978年冬）

かった。再訪を期して街に戻った。そして再訪の日。谷地川も戸吹までさかのぼれば、源流地帯も近い。車の行き来の激しい滝山街道が北へと大きくカーブして秋川方面へ越えてゆくと、自分の歩く足音が急に耳に入るような静かな道となった。水の流れて沿って水源までつづく散策路だ。道の右手に十一面観音を祀る小さな御堂と住吉神社が建ち、その間を秋川へ越えてゆく旧道の柵淵坂が残されていたが、訪ねた時には、なぜか立ち入り禁止の立札がたっていた。来た道をそのまま進むと、家屋の姿がなくなり、水流も細くなって、谷地田が現れた。小さな田は1枚ずつ縦に並んで、ついに水源の最奥までつづいていった。かすかに水の流れる音がきこえ、山鳩が鳴く。丘を越える高圧線の鉄塔が現れ、稜線に出た。（78・7・21記）

私の本はこうして生まれた 其の四十六

『キミ達の青い空 —— 八王子空襲から七十五年 ——』 前野博 著



▲焼け野原となった八王子、八日町佐藤ビル（現スカイホテル）から
甲州街道を西方向に望む（1945年10月、斎藤五郎氏撮影）

大正10年生まれの山野キミは、八王子生まれ、八王子育ち。死期が近づき、想いは戦中の八王子へ……。仲良しの由江ちゃん、好きだったあの人、隣保館での悲劇、逃げ惑った空襲、託された手紙、そして列車銃撃……。キミの現在と過去が織り成す悲しくも美しい人生物語。戦中戦後の八王子を舞台にして、1人の女性の成長と苦悩を描き出す、映画『この世界の片隅に』を彷彿とさせる小説です。キミさんは前野さんの実母がモデルです。

八王子駅が今の場所に移転する前の話で、私が2歳頃だったと母は言っていた。

「おキミさん、お宅のおちびちゃんが駅の方へ歩いて行つたわよ」と隣のおおさんが大声を上げて母を呼んだ。母は物干し竿に洗濯物を干していた。家族8人分を盥で洗濯しなければならぬ。確か私は母の後ろで土いじりをしていたはずであった。いない！

母は慌てて、駅前通りに飛び出した。駅前広場の方で警笛が鳴り響いている。車の少ない時代であったが、運送屋のトラックが数台立ち往生していた。その先頭を何も

意に介せずゆつたりと私が歩いている。母は必死になつて駆けた。その時、駅の方から馬を引いて馬方の親方が

やつて来て、さつと私をすくい上げ抱きかかえてくれた。胸を撫で下ろした母は、親方と運転手に平謝りに謝った。

この話を何度となく母から聞かされた。そして、母が一生懸命に私に話してくれたのが八王子空襲の話だ。父からも空襲の話は聞いていた。この度、それらの話を基にして『キミ達の青い空』を書き上げた。主人公のキミは母をモデルとしている。夫の幸助も私の父がモデルだが、父に怒られそうな場面を大分書いて

しまった。仏壇の写真は、母はにこやかだけれど、父は苦虫を噛み潰したような顔に見えてしまう。

由江ちゃんには重要な役をしてもらい、大変にお世話になった。誰というモデルはいないが、あの戦争時代に生きた若い女性を象徴させた。キミは生き残り、96歳まで生きた。由江ちゃんは惨事に遭遇し、命を失った。誰もが生死の境目を歩いていた危険な時代だった。キミは長生きして認知症になり、お墓の心配をしつつ死期を待った。やがて迎えに来た由江と共に、平和で穏やかな青い空に向かって旅立って行く。

皆さんのおかげで、本の売れ行きは順調のようだ。このように私の本をたくさんの方が読んでくれたと思うと、本当に感激し、感謝しかない。「良かった、感動した」とのお手紙もたくさん頂いた。ありがとうございます。コロナ禍の異常事態が続いている。穏やかな日常がこんなに脆いものかと感じると同時に、如何に大切に貴重なことかと考えさせられる。（著者記）



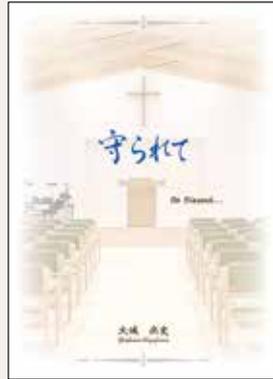
『キミ達の青い空 —— 八王子空襲から七十五年 ——』

定価1200円+税 揺籃社刊
A5判・346P

※本書をお求めの際は、お近くの書店か当該編集部までどうぞ。

※このコーナーで紹介する自費出版本を募集しています。紹介してほしい本がありましたら、ご一報を。

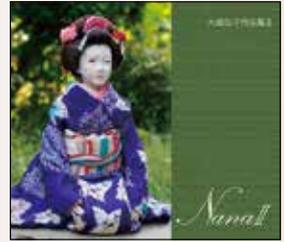
人生は自らの手で切り開いてきた、どんな困難も己の頑張りや決断で乗り越えてきた……そう信じていたはずが、信仰への目覚めにより、実は大いなる御手により常に守られ、支えられていたと気付いたときのショック、感動、そして安息……。長く小児科医として第一線で活躍してきた著者の筆は、父母の来歴や自身の歩みを滑らかに綴りながら、第3章で生き方の大転換へと至ります。クリスチャンとなり、不遜だった自らを反省し、家族への愛情、仲間への感謝、なにかなく伴侶へのいたわりを筆に込めます。本書は自分史の名を借りたラヴレターといえるかもしれません。



守られて Be Blessed...

大城尚史・著
★私家版
★A5判・236ページ
※本書は私家版です。詳細は当誌編集部まで。著者をご紹介します。

2010年に出版された作品集『Nana』に続く第2弾。可愛らしさとぬくもり、そしてどこか懐かしさを感じさせる手づくりの人形たち。前回はスタジオでの撮影だったため、しゃちほこばっているように見えた彼ら。それも一興でしたが、今回は屋外とあってか、のびのびとして躍動感に満ち溢れています。前著に掲載された人形たちの違った表情だけでなく、眩しく映える初々しい新作にも注目。作者が作品対象の領域を広げ、新たな技巧に挑戦している姿も浮かび上がってきます。人間に対する絶対的な信頼と深い愛情を感じられる作品集です。



大城侃子作品集 Nana II

大城侃子・著
★私家版 頒価10000円
★A4横変形判・132ページ
※本書は私家版です。詳細は当誌編集部まで。著者をご紹介します。

わがまち八王子探訪シリーズ「加住」(仮)

次号予告

次号は八王子の北端、加住地域を特集します。2021年に築城500年の節目を迎え、続日本百名城、日本遺産にも選ばれた瀧山城をはじめ、東西を貫く瀧山街道沿いには古い社寺が点在しています。このほか、新瀧山街道沿いにある道の駅や大学など、新旧取り混ぜて加住の魅力をご紹介します。情報募集中！

第47号(新風号)は
1月1日発行予定



広告募集中！

「はちとび46号」は8,000部を発行、右記の場所に配布いたします。八王子市民にアピールしたい商品やサービスの広告にピッタリ。是非、協賛ください。

提携店募集中！

お客さんとのコミュニケーションツールにしたり、待ち時間の合間に雑誌感覚で読んでもらったりと、利用方法はさまざま。「はちとび」を新サービスとしてご活用ください。

お問い合わせはこちら

揺籃社(清水工房内)
はちとび編集部

TEL (620) 2615
FAX (620) 2616
E-mail info@simizukobo.com

「はちとび」の置いてあるところ

公共施設

八王子観光コンベンション協会
八王子商工会議所
八王子市郷土資料館
八王子市中央図書館
八王子市川口図書館
八王子市南大沢図書館
八王子市生涯学習センター図書館
八王子市絹の道資料館
八王子市役所産業振興部
八王子市役所スポーツ振興課
道の駅「八王子瀧山」
サイエンスドーム八王子
八王子クリエイトホール
八王子市学園都市センター
八王子市民民活動支援センター
八王子市子ども家庭支援センター
八王子市芸術文化会館いちようホール
八王子市教育センター
八王子市南大沢事務所
八王子市南大沢文化会館
八王子セミナーハウス
長池公園自然館
高尾山599ミュージアム
タやけ小やけふれあいの里
市内各市民センター

お店・企業・学校

アート八王子
アクサ生命
街赤坂商店
御菓子司 旭苑
吾妻寿し
アメニティーライフ八王子
街荒物加島屋
一刻芸術会館
小侯ダンススタジオ
café de la poste
cafe rin
金子商店
ギャラリー・スペースことのは
京晴楼
くまざわ書店
くまざわ書店西八王子店
㈱クラブS保険サービス
グループホームびおら
敬愛保育園
啓文堂高尾店
工学院大学
小谷野紙店
街崎玉屋本店
和食 坂福
等 坂本クリニック・坂本医院

JA八王子ふれあい市場
シミズパーク24
東京立大学
スマイルこどもクリニック
㈱スリーボンド
せいがの森保育園
セブンイレブン八王子北口店
創価大学
高尾の森わくわくビレッジ
拓殖大学
そば・うどん 玉川亭
たましん散田店
多摩美術大学
中央大学
東京家政学院大学
東京工科大学
東京工業高等専門学校
東京純心大学
東京造形大学
東京薬科大学
とみりえ
中野屋商店
街中村自動車
㈱日住
ハーモニーネット
はちねこ！カフェ
八王子エルシィ

八王子学園八王子高等学校
八王子自動車学校
八王子市役所売店「はっち」
八王子消化器病院
㈱富士屋
ふもとや
Coffee Bricks
㈱フロリストシマダ
ベネック
法政大学
まつおか書房
松姫本店
街峰尾豆腐店
みやま大樹の苑
街山六
有隣堂CELEO八王子店 等

その他団体など

サイバーシルクロード八王子
八王子法人会
八王子市医師会
八王子市職員等事業本部
八王子自治研究センター
八王子センター元氣
八王子いちよう祭り祭典委員会
墨のアトリエ墨童舎
はちとびサポーターの会 等

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、予定が変更される場合があります。

はちとび <9月~12月>
イベント
カレンダー

9月							10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			1	2	3	4	5	6	7
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
27	28	29	30				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
							25	26	27	28	29	30	31	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
														20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		

情報募集中

10/4 (日) **第42回 音楽芸術フェスティバル**
市民参加の音楽祭。ピアノ連弾、テノール独唱、尺八独奏、箏独奏など、多彩な演者が自慢の曲目を奏でます。今年のゲスト出演は西野優子(バイオリン)、パコ・オチャンド(チェロ)、河原奈美(ピアノ)。

会場：オリンパスホール八王子
開場：13:00 開演：14:00 入場無料
音楽芸術フェスティバル推進委員会
☎(623) 5547 (宮崎)

10/24 (土) **3/31 (水)** **市民とともに53年**
— 郷土資料館との思い出リクエスト展 —
「八王子駅南口集いの拠点」への移転を予定している郷土資料館。移転にあたって市民からリクエストのあった資料や郷土資料館との思い出などを展示します。

会場：八王子市郷土資料館
時間：9:00~17:00 入館無料
八王子市郷土資料館
☎(622) 8939

11/12 (木) **11/15 (日)** **第26回 市民美術工芸展**
市内在住・在勤・在学の18歳以上の方が、絵画、書、写真、彫刻など、思い思いの美術作品を披露します。「文化の街 八王子」を表す作品をぜひご鑑賞ください。

会場：いちょうホール 展示室1階・2階 入場無料
時間：10:00~18:00 (初日13時から、最終日16時まで)
市民美術工芸展推進委員会
☎(664) 1418 (土井)

12/8 (火) **磯野正明 無伴奏チェロリサイタル**
八王子出身のチェリスト磯野正明が、チェロ奏者の夢である、バッハの無伴奏チェロ組曲のみで構成する無伴奏リサイタルに挑戦します。チケット販売は9月30日~(予定)。

会場：いちょうホール(小ホール)
開場：13:30 開演：14:00 料金：2000円(全席自由)
磯野チェロ教室
☎090(9806)7839 (磯野)

お話を聞きながら
「自分史本」を
おつくりします

まとまった原稿が書けない方も
スタッフが話を丁寧に伺い
自分史づくりのお手伝いをいたします



NPO法人「日本自費出版ネットワーク」
認定の自費出版アドバイザーが、親身
になって初めての出版を応援いたします。
自費出版とともに50年、安心と信頼と実
績の当社にお任せください。



株式会社 **清水工房**

https://www.simizukobo.com/

自費出版

編集から販売までお手伝いします

自分史・エッセイ・紀行文・小説・研究書・
郷土史・地域史・詩集・句集・歌集・画集・
写真集・遺稿集・追悼集・同人誌・記念誌・
社史・絵本・コミック・ガイドマップ など



電子書籍も
できます!!

NPO日本自費出版ネットワーク加盟 取次店：(株)トーハン、(株)地方小
(自費出版ガイドライン遵守事業者認定第1号)

〒192-0056 東京都八王子市追分町10-4-101
TEL.042-620-2626 FAX.042-620-2616

出版事業部 揺籃社

八王子自治研究センターでは、2020年6月11日に「新型コロナウイルス感染症等に関する記録、公文書等の管理、保存、ならびに積極的な情報公開に向けた要請」を八王子市に提出しました。今回のコロナ禍では、その最中に施行された「八王子市公文書の管理に関する条例」の真価が問われています。要請の詳細については、下記お問い合わせまで。



▲左から市川公文書管理課長、太田法務文書担当課長、木内副市長、八王子自治研究センターの藤岡理事長、武藤副理事長

お問い合わせ 前号にご案内した自治資料室は10月に開室予定です

八王子自治研究センター 元本郷町3-17-15 ハマナカビル2階
TEL 626-7714 FAX 621-6423

大久保長安とは…

戦国時代の終わりに八王子のまちをつくり、関ヶ原後は全国各地で金山銀山を開発、現在の八王子市小門町に陣屋を構えて浅川の治水対策などに着手した、天下の総代官です。徳川家康に天下を取らせ、その治世を支えたともいわれています。2013年は没後400年でした。

八王子のまちづくりに大いに貢献した長安を顕彰し、後世に伝えていこうと、市民有志による「大久保長安の会」が結成されました。これまでに、「大久保長安400年記念シンポジウム」や「400年記念講演会」、市内のゆかりの地を巡る「まち歩き」、長安を活かしたまちづくりを学生たちと考える「ワークショップ」などを開催してきました。今後も随時、大久保長安に関連したイベントを行っていく予定です。ぜひご参加いただき、長安を通じてふるさと八王子をもっともっと好きになっていただければと思います。

大久保長安の会

〒192-0082 八王子市東町13-6 大久保長安の会 事務局
Tel: 090-1656-6800(おまた) Mail: tk-shoes@vega.ocn.ne.jp
HP: <http://ookubo-nagayasu.com/>

第70回八王子市民文化祭
「心をつなぐ 文化のかけはし！」

書道展

と き：令和2年10月30日(金)～11月2日(月)
午前10時～午後6時
(30日は午後1時から、2日は午後4時まで)

ところ：八王子市学園都市センター (八王子オクトーレ11階)
第1ギャラリーホール (JR八王子駅北口)

(連絡先：八王子市元本郷町1-3-14 菅沼方 042-622-5666)

第66回

学生書道展

と き：令和2年11月25日(水)～29日(日)
午前10時～午後5時 (29日は午後4時まで)

ところ：八王子市中央図書館地下展示室

(連絡先：八王子市元本郷町1-3-14 菅沼方 042-622-5666)

※10月18日(日) 席書きをご希望の方は9月28日(月)までにご連絡ください。

問い合わせ先：菅沼 (090-7008-5580)

広告募集

はちとぴでは協賛広告をお願いいただける市内でご活躍の企業・お店を募集しております。ぜひご協力をお願い申し上げます。

16ページ (裏表紙外)	1頁	1/2頁	1/4頁
	120,000円	60,000円	30,000円
14ページ 15ページ (裏表紙内)	1頁	1/2頁	1/4頁
	100,000円	50,000円	25,000円

掲載スペースは申し込み順といたしますので、大枠をご希望のお客様は、お早めにお申し付けください。

本誌は、お客様発行のフリーペーパーとしてご利用いただけるシステムを考えております。ご相談をお待ちしています。

お問い合わせ先 揺籃社 TEL.042-620-2615